

<b>募集人員</b>	助教1名 常勤 任期8年（再任不可）
<b>募集内容</b>	<p>微生物遺伝進化分野では、人為起源の環境汚染物質を含む種々の難分解性化合物代謝能を有する環境細菌を主な研究対象として、微生物学、分子遺伝学、分子生物学、タンパク質工学、細胞生物学、ゲノム科学、分子生態学などの手法を用いて微生物の環境適応・進化機構を包括的に理解すると共に、微生物機能の開発と有効利用を目指しています。本公募では、当該分野スタッフと協力して、このような研究を推進しながら、好奇心に基づいた研究を主体的に実施できる人、進行中のプロジェクト研究に参画する場合でも、当該研究計画を超越して研究ができる人、論文作成指導を含め教育にも責任をもって取り組むことができる人、目の前にある現象を正しく理解し説明したいという研究の本質に沿ったマインドを持っている人、部分ではなく全体を向上させるマインドを持っている人、を助教として募集します。</p> <p>技術的には、微生物学・分子生物学・遺伝学・生化学・ゲノム科学・バイオインフォマティクス等が関連します。いずれか、あるいはそれらの関連技術に熟練、もしくは経験のある方が望まれますが、未経験でも何らかの技術を習得しており、新たな技術習得にも意欲があれば結構です。</p> <p>当該分野学生の教育と研究指導、および研究室運営に貢献して頂きます。また、着任後直ちに実習科目の「自然科学総合実験」を担当して頂きます。楽しみながら、かつ真剣に研究にコミットできる人の応募をお待ちしております</p>
<b>詳細URL</b>	<a href="https://www.lifesci.tohoku.ac.jp/date/offer/detail—id-47298.html">https://www.lifesci.tohoku.ac.jp/date/offer/detail—id-47298.html</a>
<b>応募資格</b>	・博士の学位を有すること
<b>採用予定日</b>	2022年10月1日以降、2023年4月1日までの適当な時期
<b>応募締切日</b>	2022年7月29日（金）必着
<b>書類送付・問合せ先</b>	<p>提出書類の電子ファイルを1つのPDFにして、E-mailにより下記のアドレスに送付ください。件名は「助教公募_氏名」でお願いします。</p> <p>&lt;問合せ先&gt; 永田 裕二 教授 E-mail:</p>